

【基本理念】誰もが気軽にスポーツに親しみ、交流できるまち川越

次期総合計画の考え方		次期川越市スポーツ推進計画の体系	
次期総合計画（案）における施策の方向性	施策を取り巻く状況	基本目標	施策
文化芸術・スポーツに親しむ機会の充実 1 誰もが文化芸術やスポーツを身近に感じられるよう、様々な文化芸術やスポーツを気軽に鑑賞・体験できる機会の充実を図ります。 2 文化芸術活動やスポーツを、楽しみながら意欲的に続けることができるよう、文化芸術活動の発表機会やスポーツ大会、イベントなどの充実を図ります。	令和6（2024）年度に実施した「第15回市民意識調査」によれば、文化芸術活動をどの程度行っているかとの問いに対し、「ほとんど行っていない、または行っていない」と回答した人の割合は64.5%となっています。文化芸術活動を行っていない理由としては、「興味がない」が32.8%で最も多く、次いで「時間がない」が26.3%となっています。また、同調査において、1回30分以上のスポーツや運動をどの程度行っているかとの問いに対し、「ほとんどしていない」が49.2%となっており、市民の生活に文化芸術活動やスポーツが十分に浸透しているとはいえない状況です。	スポーツを楽しむ機会の充実	多様なスポーツ大会・教室の開催
			総合型地域スポーツクラブの活用
		スポーツによる子どもたちの健やかな体及び豊かな心身の育成	学校体育の充実
			部活動地域連携・展開の推進
			全国大会、国際大会に出場する子どもたちの支援
			プロ・トップスポーツ選手による指導機会の創出
			子どもたちの意見を考慮したスポーツ施策の実施
		スポーツによる健康づくりの推進	ライフステージに応じたスポーツ環境の充実
			運動やスポーツの実施を意識づけるための取り組み
			プロ・トップスポーツ選手と市民との交流によるスポーツ実施のきっけづくり

次期総合計画の考え方		次期川越市スポーツ推進計画の体系	
次期総合計画（案）における施策の方向性	施策を取り巻く状況	基本目標	施策
文化芸術・スポーツを通じた交流の促進 1 各種活動団体への支援や活動を担う人材の育成を進め、文化芸術活動やスポーツを通じた地域交流の促進を図ります。	少子高齢化の進行、地域のつながりの希薄化、外国籍市民の増加など地域を取り巻く状況が変化する中において、健康づくりや生きがいづくり、地域の関係性の形成などの面で、文化芸術やスポーツの果たす役割は、ますます重要となっています。	地域でのスポーツ活動の推進	地域におけるスポーツ活動の充実と多様化
			日本伝統の武道の継承
			障害者スポーツの推進
			外国人がスポーツに参加しやすい環境の整備
		スポーツによる地域の活性化	スポーツツーリズムの促進
			スポーツによるシビックプライドの醸成
			プロ・トップスポーツのスポーツ観戦の機会充実
			地域の資源を生かしたスポーツの取り組みの強化
			文化系イベントなどスポーツ施設利用の多様化
		スポーツにかかわる人材の育成	スポーツ団体を活性化するための仕組みづくり
			スポーツ指導者の育成
			スポーツにおける暴力や性被害の防止

次期総合計画の考え方		次期川越市スポーツ推進計画の体系	
次期総合計画（案）における施策の方向性	施策を取り巻く状況	基本目標	施策
文化・スポーツ施設の充実 1 文化芸術やスポーツの活動拠点として、時代のニーズを踏まえた、より魅力的で利用しやすい文化施設やスポーツ施設の整備充実を図ります。	令和6（2024）年度に実施した「川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査」及び令和5（2023）年度に実施した「スポーツ意識調査」によれば、文化芸術活動やスポーツ活動をより活性化するために必要なものとして、身近な活動場所や施設の整備を求める割合が高くなっています。一方で、本市の文化施設、スポーツ施設は、その多くが築30年を経過し、老朽化が進んでいます。また、施設の整備に向けては、多様化する市民ニーズを捉え、施設が果たすべき役割について整理したうえで取り組む必要があります。	気軽にスポーツに取り組める環境の整備	多目的なスポーツ環境の整備
			既存のスポーツ施設にとらわれないスポーツ環境の整備
			学校体育施設の活用促進
			アーバンスポーツの普及促進
		安全・安心にスポーツに取り組める環境の整備	スポーツ施設及びスポーツ機器の予防保全と適切な管理
			空調設備の設置や早朝や夜間にスポーツに取り組める環境の整備
			スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の推進
		民間の活力が生むスポーツ施設の充実	既存の大規模スポーツ施設の戦略的な整備と活用
			民間ノウハウを活用したスポーツ施設の新設整備